

第35回連合中越定期総会

顔の見える地域運動を発展させ、 新たな組織拡大につなげよう

れん
ごう
中越地協

第1182号2025.12.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
https://tyuuetu.net/
定 価 1部10円
購読料は会費に含む



総会には渡辺副議長の開
会あいさつに続き、議長
団として自治労・山本代
議員と電力総連・豊田代
議員を選出して進行しま
した。

矢島議長は、1年間に
わたる組織活動への協力
と来賓への謝意を述べた
うえで、次のように述べ
ました。「私たち連合は、
企業別労働組合を束ね、
社会課題の解決に取り組
む『社会インフラ』とし
て歩んできました。今か

矢島議長あいさつ ― 地域に根ざす労働運動の深化へ

連合中越第35回定期総会を11月21日（金）午後3時から長岡グランドホテル
で開催しました。総会には幹事会役員、代議員など約100人の参加がありま
した。また、来賓として連合新潟小林会長、磯田長岡市長、稲田見附市長から
ご出席いただき、祝辞をいただきました。総会では、長谷川新議長を中心とす
る今後2年間の役員体制、26年度重点課題、予算などを決定しました。

長谷川義和新議長を選出

約20年前、故・中坊公
平氏を座長とする「連合
評価委員会」から、連合
は大企業中心のエグゼク
ティブ組織と見られ、社
会性・地域性の発揮が十
分でないとの厳しい指摘
を受けた歴史があります。
この評価は、私たちにど
うて耳の痛いものではあり
ましたが、だからこそ連
合は「地域に根差す労働
運動とは何か」を正面か
ら問い直し、地域・災害・
生活課題に向き合う運動

へ舵を切りました。この
転換こそが現在の連合の
基盤となつていきます。
連合ビジョンが示す社
会像は明確です。働くこ
とに最大の価値を置き、
誰もが公正な労働条件の
もと、多様な働き方で社
会に参加し、自立と自己
実現を果たせる社会。
その根底には、「持続可
能性」と「包摂」があり
ます。年齢・性別・国籍・
障がいの有無にかかわら

ず、多様性を認め合い、
誰一人取り残さない社会
をつくる――これが連合
の使命です。
この実現に不可欠なの
が、継続的賃上げの実現
と、政策・制度を動かす
政治力という二つの柱で
す。2026春闘では
「実質賃金1%アップの
定着」をめざし、より高
い水準での賃上げに挑戦
しなければなりません。
組合員の生活向上を実現
する賃上げの積み重ねこ
そが、誰もが心豊かに暮
らせる持続可能な社会へ
の着実な一歩となります。

同時に、組織率の低下
は政治的影響力の低下に
直結します。勤労者の地
位向上、産業政策の前進
には政治の力が欠かせま
せん。各単組において、
政治の必要性への理解促
進と、組合活動と政治を
切り離さない取り組みを
続けていただきたいと強
くお願い申し上げます。
賃上げと政治力、この両

輪がかみ合つてこそ、社
会を動かす力となります。
最後になりますが、私
は今大会をもちまして議
長を退任いたします。20
年間、皆さまと共に地域
から労働運動を進めてこ
られたことは、私にとっ
てかけがえのない財産で
あり、大きな誇りです。

その後各種報告に入り、
25年度活動報告と決算報
告、会計監査報告が承認
されました。質疑では、
7月に会社破産、全員解
雇とされた、JSフアン
ダリ労組からの報告と教
職員組合から30人以下学
級実現の署名の取り組み
の報告がありました。
休憩後、議案では、ま
ず26年度重点課題、26年
度予算を提案し決定され
ました。

活動報告・重点課題・役員体制を承認

体制について、役員推薦
委員会松田委員長から、
役員選出について経過報
告があり、新たな役員体
制の提案がありました。
この議案について選挙管
理委員会報告の後、採決
され承認されました。新
たな役員体制では、20年
に渡つて議長を担つてき
た矢島良彦議長が退任し、
長谷川義和議長が新たに
就任しました。
次に、総会をもって役
員を退任された矢島議長、

心から感謝申し上げます。
連合中越の運動はこれか
らも続きます。新しい体
制のもと、地域の生活者
に寄り添い、顔の見える
運動を、より力強く展開
していただきますことを
願っております。長年に
わたり本場にありがとう
ございました。」

石坂幹事、岡村幹事、押
野見幹事が表彰され記念
品と感謝状が贈呈されま
した。
旧役員挨拶では、矢島
前議長と石坂前幹事から、
思いを込めた挨拶が述べ
られました。続く新役員
挨拶では、全員の自己紹
介のあと長谷川新議長か
ら就任のあいさつがあり
ました。その後、総会宣
言の採択、番場副議長の
閉会あいさつ、長谷川議



長の団結ガンバロウで総
会を終りました。
また、総会会場入り口
では、フードバンクなが
おかによるフードドライ
ブ、「難病疾病対策署名」
「30人以下学級実現署
名」「核兵器廃絶署名」
の署名活動を行い、多く
の参加者から協力をいた
だきました。



来賓あいさつ ― 地域と労働運動の連携強化に期待
来賓あいさつでは、連
合新潟・小林会長が、新
潟労働局との懇談会の報
告を踏まえ、労働時間規
制緩和への懸念、県内での
長時間労働・過労死の
実態、2026春闘方針
などに触れました。



磯田長岡市長からは、
人口減少・物価高への対
策、地域産業の活性化と
幸福の増進に向け、労働
組合とともに取り組んで
いきたいとの激励が寄せ
られました。
稲田見附市長からは、
「誰もが働きやすく、ひ
と一人が輝けるまちづく
り」をめざす市政の方
向性が語られ、労働運動
への期待が示されました。

連合中越26・27年度役員体制

役 職 名	氏 名	構成組織／単組名
議 長	長谷川 義和	J AM新潟/日本精機労組
副議長	五十嵐 聡	UAゼンセン/岩塚製菓労組
副議長	大野 健太郎	UAゼンセン/原信労組
副議長	番場 睦	J P 労組中越支部
副議長	渡辺 将史	電力総連/東北電力労組
事務局長	横澤 勝之	自治労/県職労
事務局次長	半間 陽介	日教組/新教組
幹 事	中村 憲和	自治労/長岡市職労
幹 事	飯田 浩二	UAゼンセン/立川メタル労組
幹 事	小原 洋輔	J AM新潟/日本精機労組
幹 事	船山 大志	電機連合/TDKラムダ労組
幹 事	皆川 みどり	ヘルスケア労協/日赤労組
幹 事	星野 弘樹	自動車総連/トヨタ北越労組
幹 事	渡部 洋平	運輸労連/全日通労組
幹 事	小坂井 康裕	私鉄総連/越後交通労組
幹 事	佐藤 昌和	基幹労連/北越メタル労組
幹 事	高平 光	J E C 連合/石油開発労組
幹 事	小林 一由	全水道/長岡水道労組
会計監査	岡地 英紀	紙パ連合/北越コーポレーション労組
会計監査	樺澤 安利	全労金/新潟県労金労組

各支部選出幹事5名、S J ネット委員会選出幹事3名は、各支部、S J
ネット委員会総会での選出となるため、次号で紹介しします。

総会宣言等は連
合中越ホームペ
ージでご覧いた
けます。



未来への躍進を誓い合う 定期総会 【躍進レセプション】

連合中越第35回定期総会終了後の午後6時から、同会場において「躍進レセプション」が盛大に開催されました。

レセプションには総会参加者に加え、長岡市の渡邊副市長、連合推薦・支持の国会議員・地方議員、労働金庫、こくみん共済、退職者連合の皆さまなど、多方面から多数のご来賓にお越しいただき、連合中越への期待の大きさが感じられる場となりました。

冒頭、長谷川新議長より、政策実現力の強化、組織拡大、若者参画の推進など、新体制のもとの力強い決意が表明されました。続いて、連合新潟・小林会長、長岡市・渡邊副市長、米山隆一衆議院議員、梅谷守衆議院議員、打越さく良参議院議員からご挨拶をいただき、激励と連帯の思いを

共有する力強い拍手が会場に響きました。さらに、中越地域退職者連合・西片会長の発声による乾杯で、和やかな交流が始まりました。

その後、連合推薦の県議会・市議会議員の皆さまから一言ずつあいさつをいただき、それぞれから、働く仲間のために力を尽くす決意と、連携強化への思いが語られました。

「機関紙で見る連合中越の35年―矢島議長の20年」と題し、通巻1181号の中から選りすぐりの40号余りを映像で振り返りました。歩んできた歴史と、多くの仲間の努力の積み重ねを可視化し、会場からは感慨の声と力強い共感のうなずきが寄せられました。

終盤には、SJネット委員会進行による「お楽



しみ抽選会”が行われ、ホテル利用券や栃尾ワイン、地域資源を活用した食品、福祉作業所のお菓



ンパロウ”が会場を一つにまとめました。こうして、第35回定期総会の締めくくりとなる「躍進レセプション」は、世代と組織をつなぎ、仲間の団結を改めて確かめ合う場として大盛会のうちに幕を閉じました。



躍進レセプションご来賓

機関名ならびに御役職	御 芳 名
日本労働組合総連合会新潟県連合会長	小林 俊 夫 様
長岡市副市長	渡 邊 則 道 様
衆議院議員	米 山 隆 一 様
衆議院議員	梅 谷 守 様
参議院議員	打 越 さ く 良 様
新潟県議会議員	樋 口 秀 敏 様
新潟県議会議員	諏 佐 武 史 様
新潟県議会議員	小 泉 勝 様
長岡市議会議員	五 十 嵐 良 一 様
長岡市議会議員	松 野 憲 一 郎 様
見附市議会議員	佐 々 木 志 津 子 様
小千谷市議会議員	長 谷 川 有 理 様
魚沼市議会議員	高 野 甲 子 雄 様
南魚沼市議会議員	今 井 久 美 様
国民民主党新潟県総支部連合会幹事長	市 川 政 広 様
社民党長岡支部協議会代表	長 部 登 様
新潟県労働金庫長岡エリア統括店長	松 嶋 英 一 様
こくみん共済coop新潟推進本部中越支所長	邊 見 亮 佑 様
長岡地区労働者福祉協議会事務局長	今 井 啓 一 様
新潟県中越地域退職者連合会長	西 片 徳 栄 様
新潟県中越地域退職者連合副会長	今 井 一 夫 様
新潟県中越地域退職者連合副会長	中 村 好 隆 様
新潟県中越地域退職者連合事務局長	高 峰 正 俊 様
連合新潟中越地域協議会顧問	今 井 勇 様
連合新潟中越地域協議会顧問	小 林 守 様

長岡市磯田市長と面談し 市政要望書を提出

連合中越地協は11月20日（木）午後1時30分から、アオーレ長岡において磯田達伸市長と面会し、「二〇二六年度長岡市予算に関する市政要望」を提出しました。

冒頭、矢島議長より市長へ要望書を手交し、続いて懇談に入りました。今回の要望は8分野27項目に及ぶますが、すべてを取り上げる時間が限られていたことから、特に重要度の高い三項目に内容を絞り、事務局から説明を行い、市長より見解

が示されました。第一は、長岡地域の医療体制の堅持とともに、医師・看護師をはじめとする医療関係者の人材確保、労働環境改善のための財政支援、診療報酬改定までの職員処遇改善を

目的とした助成金の新設など、医療政策に関するものです。第二は、交通事故防止と交通の円滑化の観点から、長岡東西道路の四車線化をはじめとする道路整備の推進、および雑草対策を含む道路管理の徹底を求めるものです。第三は、小中学校の教育環境整備に関するもので、特別教室および体育館への冷房設備の設置を求める項目です。

これら三点について、磯田市長からは、診療報酬の改定および改定までの支援については県と協

力し国へ要望したいとの意向が示され、あわせて医療機関への支援策についても県と協力しながら取り組みを進めたいとの姿勢が示されました。また道路整備については、原発の避難路整備の状況とも併せて進めたいとの考えが述べられ、道路管理については安全確保を最優先に、創意工夫を凝らして取り組みたいとの回答がありました。さらに学校施設の冷房設置については、特別教室の整備を順次進めているものの、切実な要望として受け止め、予算編成の中で検討したいと表明し、体育館については国の補助制度の改善を求めていることに加え、国では原発事故時の避難所としての整備を検討している動きがあるため、その動向を注視している旨が示されました。

また、西部丘陵工業団地東地区への企業進出の



谷川副議長、五十嵐副議長、横澤事務局長、半間事務局次長が出席し、さらに連合推薦議員である五十嵐良一、松野憲一郎両長岡市議にもご同席いただきました。



また、西部丘陵工業団地東地区への企業進出の

ながおかワーク&ライフセミナー 第1講座 映画「遠いところ」 1月10日(土) 10時30分

ながおかワーク&ライフセミナー 第1講座

映画「遠いところ」

2026年1月10日(土) 10:30~12:50 参加費無料 定員100人

会場 アオーレ長岡 市民交流ホールA (車込み先着順)

アオーレ長岡が近くに食品等を販売するフードドライブがあります。参加される方は、可能であれば家庭に眠る食品等をお持ちください。